

## 第5回会津若松市総合計画審議会（第1部会）の主な意見

部 会：第1部会 しごとづくり①

日 時：平成28年5月18日（水） 10:00-12:00

場 所：ホテルニューパレス

出席者数：審議会委員 8名、オブザーバー 1名

No.	項目	委員からの主な意見
1	「政策分野23」の目指す姿 低炭素・循環型社会	「持続的可能なまち」は「持続可能なまち」とすべきではないか。
2	「政策分野23」の施策2 低炭素・循環型社会	循環型社会実現のためには、我々の意識改革が必要だ。まずはゴミを出さないことだと考える。施策2「ごみ減量化に向けた取組」を最初に記載すべきではないか。
3	「政策分野24」の目指す姿 自然環境・生活環境	「豊かな自然環境」とは、どういう意味か。人間との共生関係にある人間が住みやすい状態か。それとも人間の手が加えられていない状態か。
4	「政策分野24」の着眼点 自然環境・生活環境	「生活污水に起因する水質汚濁や悪臭といった都市型・生活型公害」と記載されているが都市部だけの課題では無いので、「生活型公害」だけの記載で良いのではないか。
5	「政策分野24」 自然環境・生活環境	市内の下水道の普及率はどの程度か。
6	「政策分野24」 自然環境・生活環境	ゴミステーションについて、公共施設に位置づけるべき。
7	「政策分野26」の着眼点 生活・安全	「身近な相談窓口」とはどういう方法を想定しているのか。また、身近な公共施設に行けば何らかの対応ができるような仕組みをつくっていただけるとありがたい。
8	「政策分野26」 生活・安全	ICTなどを活用したデータ解析をすることで、その結果を見守りなどに活用できるのではないか。ICTを使った情報活用の視点を行政として入れたらどうか。
9	「政策分野27」 地域防災	消防団員の人数はどうなのか。また、企業などは社員の加入及び有事の際の活動について理解はあるのか。
10	「政策分野32」 公共交通	鉄道やバスへはどのような補助を行っているのか。
11	「政策分野32」の6次計画の総括関連 公共交通	公共交通ネットワーク全体の再構築というならば、タクシーの活用の視点も必要ではないか。

No.	項目	委員からの主な意見
12	「政策分野32 公共交通」	10年後を見据えた交通ネットワークを考える必要がある。また、車輛の小型化とデマンド化が必要になるのではないかな。
13	「政策分野33 情報」	用語の注釈を付けて欲しい。
14	「政策分野33 情報」	「スマートシティ会津若松」の中心となる分野なので、ここにその言葉を記載すれば、目立たせることができるのではないかな。
15	「政策分野33 情報」	全体として会津らしさがないので、ここに「スマートシティ会津若松」を記載したらどうか。また、市民レベルでスマートシティを推進できる人材の育成や市民の巻き込みをして欲しい。
16	「政策分野36 地域自治・コミュニティ」	各政策分野のつながりが分かるような記載は考えているのか。
17	「政策分野36 地域自治・コミュニティ」	ここでいうコミュニティとは地縁型かテーマ型か。また地域コミュニティにおいて公民館（コミュニティセンターなども）をどうとらえているのか。
18	「政策分野36 地域自治・コミュニティ」	地域自治とうたっているが、重くはないか。それとも自治意識のことなのか。
19	「政策38 大学等との連携」	ICTの表現が強いので、実際に多く地元に残っている短期大学部についての記載が必要ではないかな。